

## 犬悪性黒色腫症例に対する 合成マイクロRNA-634を用いた新規治療法の開発

### 【概要】

東海国立大学機構 岐阜大学応用生物科学部 森 崇教授、同附属動物病院 吉川 竜太郎、東京医科歯科大学・難治疾患研究所 井上 純准教授（研究当時）と同・リサーチコアセンター長の 稲澤譲治特任教授らの研究グループは、ペット犬自然発症悪性黒色腫に対して、合成miR-634の腫瘍内局所投与は、抗腫瘍効果を示すことを明らかにしました。

犬の悪性黒色腫は難治性疾患であり、有効な治療法が確立されておられません。本成果は、合成miR-634を用いたマイクロRNA核酸抗がん薬は、犬及びヒト悪性黒色腫の新たな治療モダリティとなることが期待できます。

本研究成果は、日本時間2023年8月8日（火）にCancer Gene Therapy誌のオンライン版で発表されました。

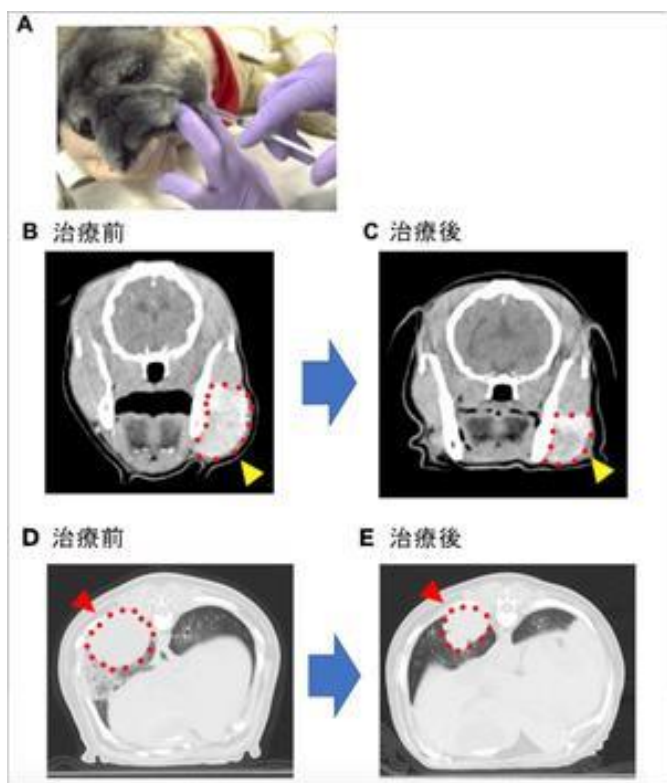


図 犬悪性黒色腫自然発症例におけるmiR-634の抗腫瘍効果  
A. miR-634の腫瘍内局所投与の様子。口腔内原発病変を目視下で局所投与した。  
B. miR-634投与前の口腔内腫瘍（黄色矢印）の造影CT画像。  
C. miR-634投与開始582日後の同じ病変。  
D. miR-634投与前の肺転移病変（赤矢印）の造影CT画像。  
E. miR-634投与開始148日後の同じ病変。

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/9/13	中日	犬のがんにも miR-634 効果あり 岐阜大など研究 メ ラノーマ治療に期待 ～ 森崇教授（共同獣医学科）、 吉川竜太郎（附属動物病院）他 ～